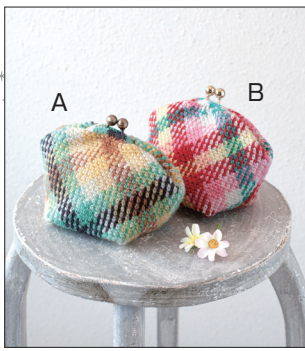


AMU-699 ブランドプーリングのたっぷりがま口



デザイン／ハマナカ企画

☆でき上がり寸法 幅約17cm、深さ約11cm、マチ8cm
 ☆使用糸 コロボックル《マルチカラー》(25g玉巻)

<2020A/W>

この作品はレシピ3枚です(3-1)

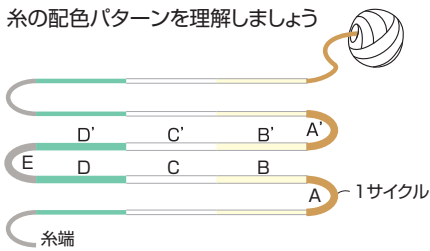
☆副資材 編みつける口金(くし形)(H207-022-4)アンティーク……………1組
 ☆使用針 ハマナカアミアミ片かぎ針4/0号
 毛糸とじ針(H250-706)6本1組

ポイント

細編みは必ず指定の色が出てくるように手加減で調整しながら編みます。

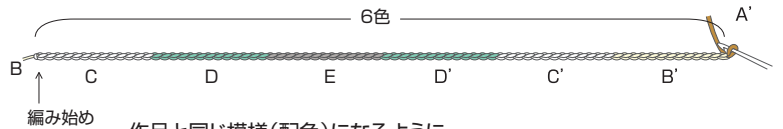
ブランドプーリングの編み方(※作品使用色 No.120で解説)

1 糸の配色パターンを理解しましょう



糸玉から糸を取り出し、段染めのカラーパターンを把握します。
 1サイクルの色変化をみます。
 作品使用色 No.120での1サイクルは薄茶、クリーム、白、
 グリーン、濃グレー、グリーン、白、クリームの配色順です。
 (※糸玉の色によって長さが異なる場合があります。)

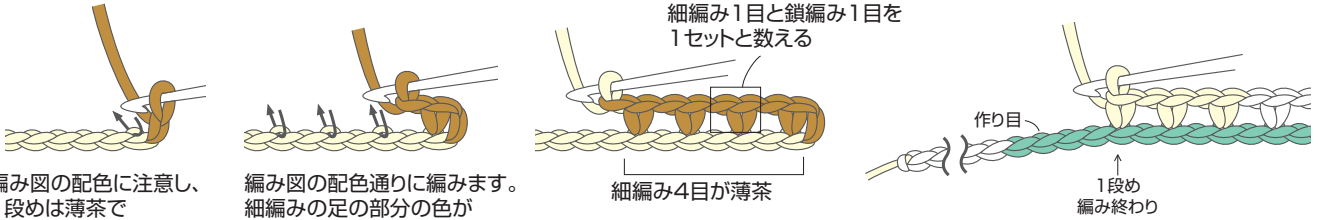
2 作り目をします



作品と同じ模様(配色)になるように、
 作り目はBとCの境目(クリームと白の境目)から編み始めます。
 6色分(白、グリーン、濃グレー、グリーン、白、クリーム)作り目をします。
 針にかかっている糸が薄茶になるまで編みます。

※この時、作り目数は気にしないで色を見ながら編みます。
 ※余った作り目は後で解いて、すくいはぎに使用します。

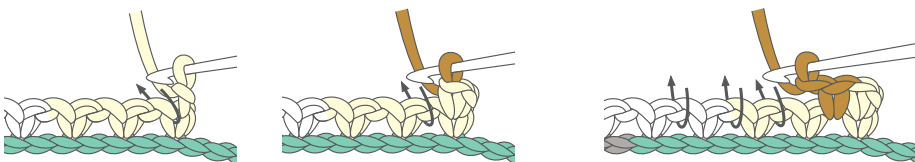
3 1段目を編みます



編み図の配色に注意し、
 1段目は薄茶で編み始めます。
 編み図の配色通りに編みます。
 細編みの足の部分の色が
 各色4目ずつになるように編みます。
 (※作品使用色以外の糸玉によっては
 レシピの目数で編めない場合があります。)

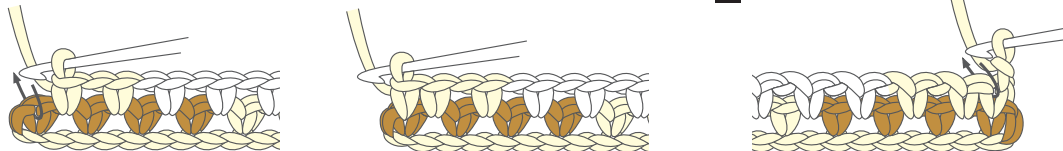
作り目は余りますが、気にせずに
 編み図通りの配色になるよう調整
 しながら編みます。
 編み地を裏返し、2段めに移ります。

4 1段めから2段めへ

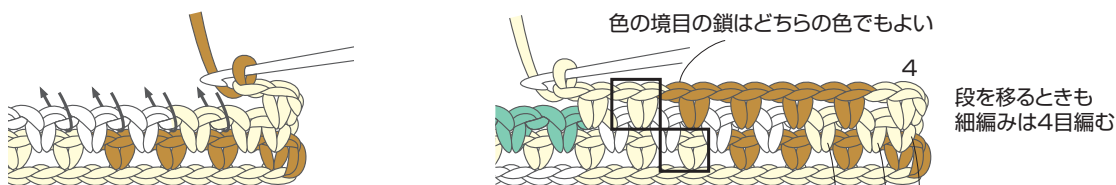


編み図の配色に注意し、
 2段目はクリームで編み始めます。
 2目めの細編みから薄茶に
 切り替わるように編みます。
 続けて薄茶で3セット編みます。
 編み図の通り、各色4セットずつ編みます。

5 2段めから3段めへ



2段めの最後は細編みを
 編みます。
 偶数段は両端の目は
 細編み2目になります。
 3段めの最初は細編み1目
 鎖編み1目を編みます。



薄茶で4セット編みます。
 編み図の通り、各色4セットずつ編みます。
 以降、前々段と配色が1セットずれて 1 2 3
 いることを確認しながら編みます。
 細編みが4目同じ色になるように
 手加減を変えながら編んでいきます。

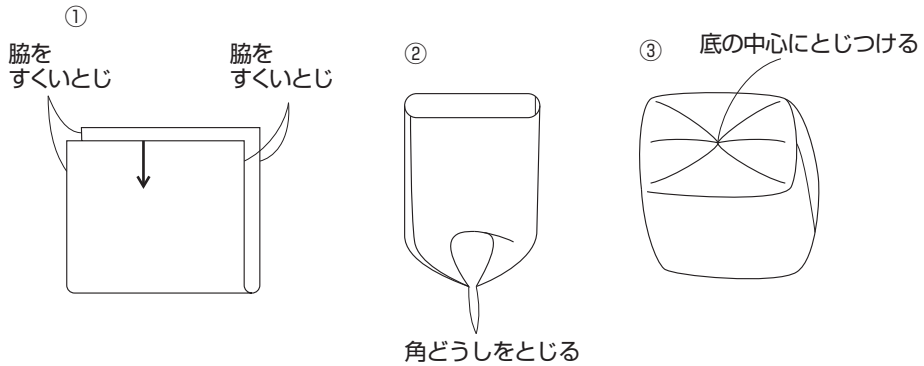
本体 (1枚)

※鎖は束に拾う ×=細編み

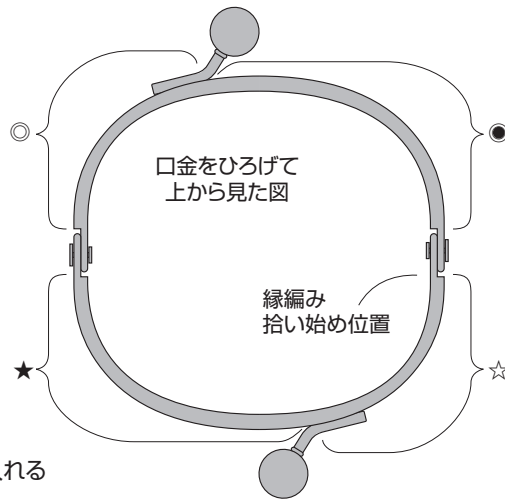
AMU-699 (3-2)



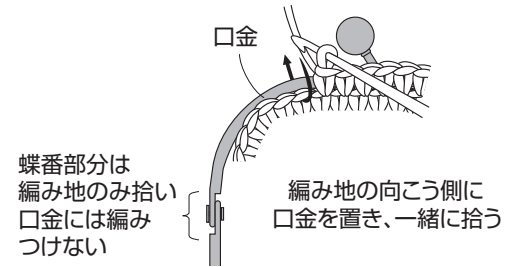
〈組み立て方〉



〈口金の拾い位置〉



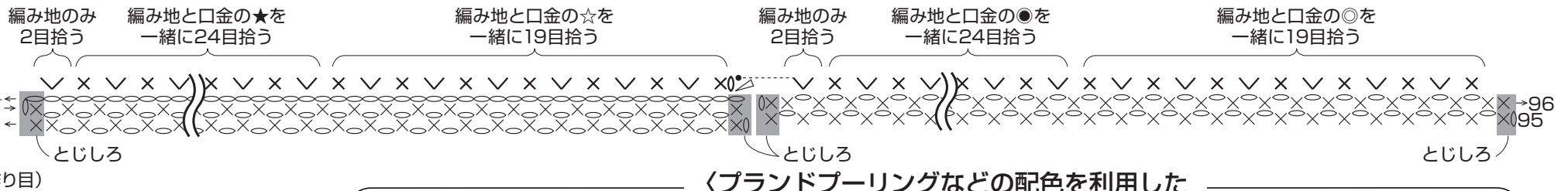
〈口金の拾い方〉



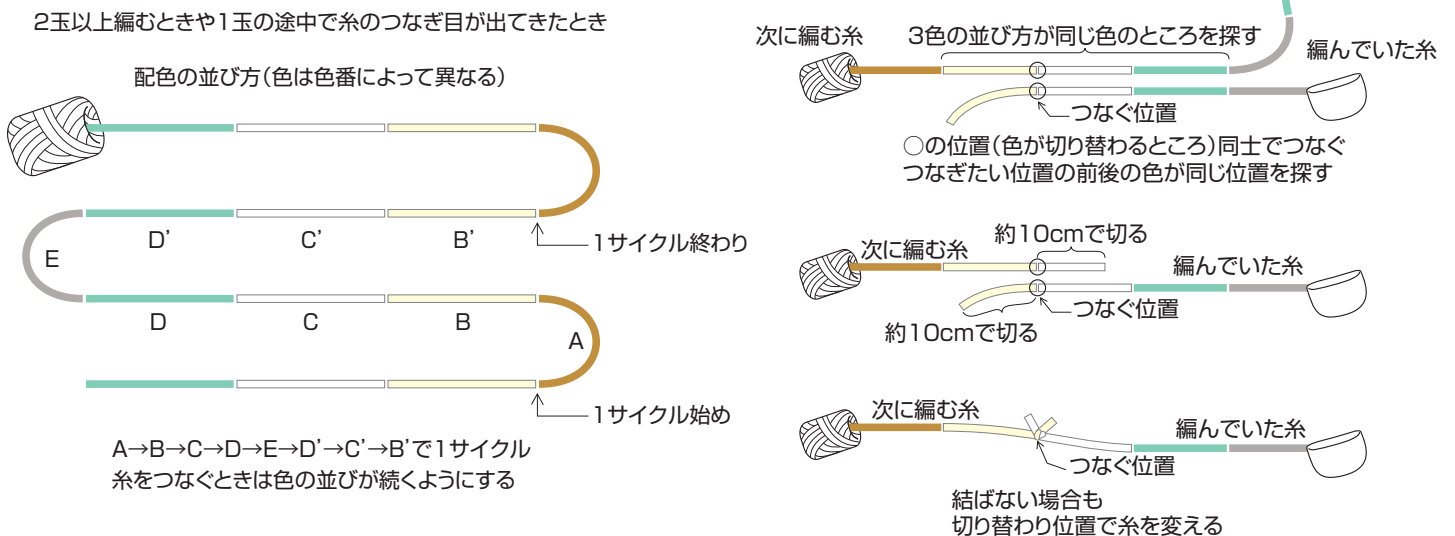
縁編み 口金を重ねて拾う

※縁編みは本体の色を気にせずに編む

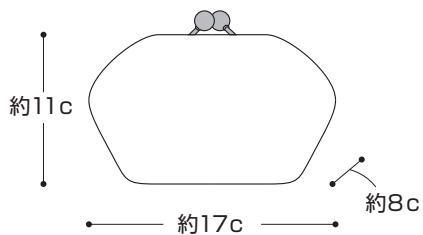
※鎖は束に拾う × = 細編み
 ▲ = 糸をつける ▼ = 細編み2目編み入れる



〈ブランドプリーングなどの配色を利用した編み地を編んでいるときの糸のつなぎ方〉



でき上がり図



編みつける口金
プロセス基礎

